

ちくさんスナツプシヨット

平成 25 年 11 月 第 30 号 株式会社富士飼料

【早めの冬支度】

11 月に入り、気温もぐっと下がり日増しに寒さを感じる季節となりました。アップル蔵王 TMR センターも二度目の冬を迎えることとなります。今年是最初の冬の経験を踏まえ、雪、風対策として製造スペースに壁を設置しました。毎朝、雪かきから始まっていた作業も効率よくなる事と思われます。

機械、車両も冬支度（タイヤ、バッテリー、油圧、水道の凍結防止など）が必要です。それと同時に我々人間も身体と頭を冬仕様に切り替えなければいけないと思います。例えば、風邪をひかないための体調管理、うがい、手洗い、体温調節。雪の日は早めの出発を心掛ける。冬に必要なもののチェック、点検、などです。

いずれにせよ、何事も早め早めの準備が必要かと思えます。

【養牛担当：佐藤研治】

飼料をめぐる情勢

国内の配混合飼料生産量は約 2,450 万トン/年です。その飼料自給率は 25%、つまり、原料の 75% は輸入に頼っています。この中でも割合が大きいのはコーンで、なんと輸入コーンの 94% は米国産です（#21 年度実績）。その為、毎年米国のコーン生産動向が注目されるのです。今年の米国産コーンは史上最高の生産量になる見込みですが、生産農家の安値売り渋りと慢性船混み状態から、楽観視はまだできません。



蔵王アップル、雪対策で壁を張りました！

【酪農】エネルギー摂取量を高める工夫

最近の研究では、トウモロコシなどでんぷん源の代替として糖の利用が有効であると言われています。糖は嗜好性が良く飼料摂取量を高めるだけでなく、でんぷんに比べルーメンアシドーシス起こしにくいことが分かってきたためです。

糖分含量が異なる TMR を分娩後 4 週間給与した試験では糖分が多い TMR の牛群の方が乾物摂取量とルーメン pH が高く乳量とエネルギーバランスは改善される傾向にあったとの結果でした。泌乳初期には糖蜜などを添加するのも良いとのことです。

弊社では扱いやすい乾燥粉末糖蜜飼料「ドライモラセス」も扱っております。是非、一度お試しください。

【宮城県南養牛担当：佐藤研治】

【養豚】第 99 回日本養豚学会大会へ

去る 10 月 10 日に仙台市民会館小ホールに於いて開催された日本養豚学会大会へ参加して参りました。研究発表からランチョンセミナー、公開シンポジウムと大変内容の濃い大会で沢山の関係各所様おいでになられました。

シンポジウムテーマ、「我が国のこれからの種豚改良について考えよう」は、種豚改良を軸に、日本の養豚が世界に進出する為に受精卵移植の現在の技術から育種化、一腹記録、トレーサビリティ、品質の徹底追及などを考え、国外のニーズに答える養豚を目指そうと言うものでした。

今後 TPP 参加、飼料原料高騰、豚価の低迷により先の見えない状況が続いているのは間違いありませんが、一営業マンとして様々な講演などに参加し情報の提供発信を目指します。各メーカー、研究所に於いても農場の改善提案と飼料以外の事でも協力を仰ぎます。

【宮城県北養牛養豚担当：松浦卓也】